

# 文化の交差点

*bunka to bunka no kousaten*

2020年冬花号

著作権との関係で画像は表示  
できません

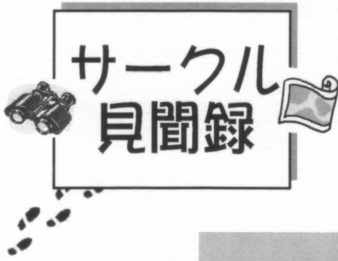
## contents...

### サークル見聞録

- 舞台美術研究会 p1
- マンドリン楽部 p2
- 劇団木霊 p3

### 文化の案内板

- 繊維研究会 劇団木霊 p4
- 演劇研究会 p5



## 2019年度 舞台美術研究会 秋季研究会公演 「すやすや ぷかぷか 目覚めて起きて そのまま寝てれば どんなに楽か」

(2019年12月12日～14日 @早稲田大学学生会館B203)

演劇を中心とした舞台美術や照明を専門に担当するサークル、舞台美術研究会。早稲田演劇に欠かすことのできない存在だ。職人かたぎの技術力を誇るみなさんによる秋季研究会公演を観た。

卒業旅行に行くことになった女子大生3人。東京を出発し、北海道へ。道中でそれぞれの思いが交錯しながら物語は進む。最北端の宗谷岬でたそがれ、レンタカーで訪れた旭山動物園で白くまとたわむれ、そこからさらに主人公の故郷、青森・八戸へと足をのばそうと苫小牧からフェリーで移動…。行く先々で当地グルメに舌つづみをうちつつ、かなりの移動距離を自由気ままに旅する卒業旅行だ。旅館でくつろぐ3人がこれからのことや恋の悩みをグチりつつ、女同士ゆえのめんどくさいすれちがいを織りまぜながらの展開に、客席もハラハラ。さながらロードムービーを見ているような気になってくる。

行く先々で変わる場面を、生の舞台でどう切りかえるのかが見どころ。各地の名所や旅館の客室、レンタカーやフェリー、といった場面をつくる道具はあえて舞台の上に“出しっ放し”。ある時には役者がレンタカーの座席を出してきて座るとそこに車内ができあがり、別の場面では旅館の畳の部屋に照明があたってその空間が出現する。そうやって瞬時に彼女たちの今いる場所が作りだされ、気がつけば客席も、旅館の畳の匂いを感じ、フェリーの上で潮風や波の泡を感じている。これはマジック！ 舞台美術とは、大道具や照明といった装置のみにあらず。おはなしの世界観と空気をつくることなんだ。

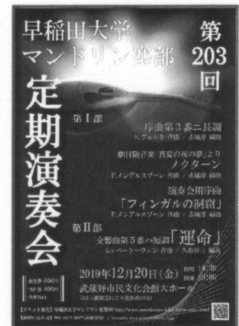
この日私が入口でうけとった公演チケットは、客席に居ながらにしていろいろな空間を行き来することを可能にする乗車券なのだった。

(わんこそば)



早稲田大学マンドリン楽部  
「第203回定期演奏会」を聴いて

(2019年12月20日 @武蔵野市民文化会館大ホール)



ベートーヴェン交響曲第5番ハ短調、圧巻の演奏でした！

「ダダダーン」とかの有名な冒頭から始まり、「古典学派の終着点」と呼ばれる『運命』……その曲の真髓が、マンドリンならではの音色と堂々たる演奏で表現されていたと思います。マンドリンで全楽章を演奏することはほとんどないそう。私もドキドキしながら聴いてましたが、新たな境地へと挑んだ演奏者のみなさんの熱意に、グッときました。

そして、メンデルスゾーンの『フィンガルの洞窟』。作曲当時から有名だった、スコットランド北西沖の観光地・ヘブリディーズ諸島…ここにある洞窟を訪れた時の作者の感動が、悠々たる自然の情景を思い浮かべるとともに伝わってきました。

4年生合奏の『レ・ミゼラブル』（5曲抜粋）も良かったです。新しい世界への希望を追い求める、感動のラスト……情熱的なこの曲の醍醐味を存分に味わうことができました。みなさんが、一生懸命に一つの音楽を創りだそうとしている姿が印象的でした。

(フラミンゴ)



## 劇団木霊12月企画公演 「トウヒコウ」を観て

(2019年12月21日～24日 @大隈講堂裏劇団木霊アトリエ)



「いまこの瞬間を永遠のものにしたい」——このように思ったことがある人は多いだろう。そんな閉じ込めたくなる「一瞬」をいかに描き出すかが、ここでは探求されていたのではと思う。

幼い頃から母親の言われるままに勉強を続け、大学に入った和泉。同好会で友だちと楽しく過ごす中、20歳となる誕生日のクリスマスがあと3日に迫る。けれども大人になることへの抵抗感が芽生えてきて……和泉は「トウヒコウ」を決断する。

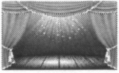
何をするでもないが、自分に付き添ってくれる領。恋人にもかかわらず、なかなか和泉に声をかけることができない相田。和泉より1歳年上で、彼女のことを気にかける希子。そんな同好会の仲間どうしの対話が、和泉の心に少しずつ変化をもたらしていく。

いまこの時がこのまま続けばいいのに……しかし時間は待つてはくれない。その刹那のひと時に揺れる人間模様が、丁寧に表現されていたと思う。クリスマス前に、ほんのりと心が温まりました。

(朝霜)



ショー



繊維研究会 2019年度ファッションショー  
「ひとりぼっちで踊っている」

日時：2月2日(日)  
① 15:30 ② 18:00  
場所：北千住BUoY

足立区千住仲町49-11(墨提通り側入り口)地下  
東京メトロ千代田線・日比谷線/JR常磐線/東武スカイツリーライン  
「北千住」駅出口1より徒歩6分、西口より徒歩8分

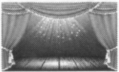
観覧料 500円 完全予約制  
以下のリンクよりご予約ください。  
[bit.ly/37LR6xt](https://bit.ly/37LR6xt)

詳細は繊維研究会公式 Twitter  
@sen\_i\_lab をご覧ください。



音楽 Takao / 写真 トヤマタクロウ

演劇



劇団木霊 2020年2月企画公演  
「地獄のユーモア」

日時：2月14日(金)～16日(日)  
場所：下北沢スターダスト

2/14 金	2/15 土	2/16 日
	14:00～	14:00～
19:00～	19:00～	19:00～

チケット 一律1000円

ご予約

<https://ticket.corich.jp/apply/104677>



作・演出 | 奥手前

出演 | 岸香保里 小池彩水 佐藤鈴奈 田尻祥子 内藤響子 七瀬雪

Twitter @kodama202002



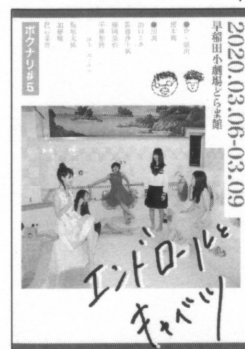
## ボクナリ 新春2本立て企画

### #5 「エンドロールとキャベツ」

日時：3月6日(金)～9日(月)

場所：早稲田小劇場どらま館

出演 | 山口ミカ、佐藤沙千帆、藤岡皇佑、平林和樹(以上、ボクナリ)  
松尾太稀、加藤唯、秋谷采音



### #6 「眠れぬ夜のバッドひつじ」

日時：3月12日(木)～17日(火)

場所：大隈講堂裏劇研アトリエ

出演 | 武田迅人、平林和樹、佐藤沙千帆(以上、ボクナリ)  
坏智弘、飯尾朋花、崎原ひかり、田中遼太郎、吉野光太郎



「文化の交差点」2020年冬花号

発行日：1月17日

発行者：「文化の交差点」編集委員会

連絡先：090-2331-4456

waseda-bunren@hotmail.co.jp